

佐賀県知事 殿

住 所 佐賀市日の出1丁目20-1
申請者 独立行政法人国立病院機構佐賀病院長
氏 名 円城寺 昭人

独立行政法人国立病院機構佐賀病院の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒152-8621 東京都目黒区東が丘2丁目5番21号
氏名	独立行政法人国立病院機構

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

独立行政法人国立病院機構佐賀病院

3 所在の場所

〒849-8577 佐賀県佐賀市日の出1丁目20-1	電話 (0952) 30-7141
-------------------------------	-------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	292床	292床



5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 18床 (M F I C U 6床、N I C U 12床)
化学検査室	(主な設備) 実験台、免疫測定装置、自動分析装置、血球計測装置、血液凝固測定装置、遠心器、冷蔵庫
細菌検査室	(主な設備) 実験台、滅菌器、培地庫、乾燥機、フリーザー、フラン器、培養器、保冷库
病理検査室	(主な設備) 実験台、遠心器、包埋装置、冷却装置、伸展器、顕微鏡、保冷库
病理解剖室	(主な設備) 解剖台
研究室	(主な設備)
講義室	室数 室 収容定員 人
図書室	室数 1室 蔵書数 1,800冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備) 保有台数 1台
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 16.32㎡ [共用室の場合] ○○室と共用

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	72.6%	算定期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	76.1%		
算出根拠	A：紹介患者の数	4,714人	
	B：初診患者の数	6,487人	
	C：逆紹介患者の数	4,938人	

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様		勤務時間	備考
		別紙のとおり	常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		
			常勤 非常勤	専従 非専従		

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	5床
専用病床	床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
CT室	88.12㎡	(主な設備) CT装置2台	可
MRI室	44.64㎡	(主な設備) MRI装置1台	可
	㎡	(主な設備)	
	㎡	(主な設備)	
	㎡	(主な設備)	

4 備考

救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている。現認定機関：令和5年2月1日～令和8年1月31日

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。
既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	3,024人 (1,389人)
上記以外の救急患者の数	2,476人 (860人)
合計	5,500人 (2,249人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

1. 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	院長	円城寺 昭人	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	外科
2	副院長	江島 英理	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	内科
3	統括診療部長	阿比留 正剛	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	内科
4	臨床研究部長	日高 信道	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	整形外科
5	第一診療部長	高柳 俊光	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	小児科
6	第二診療部長	岡田 秀樹	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	放射線科
7	外科部長	森内 博紀	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	外科
8	救急部長	高木 紀人	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	泌尿器科
9	研究検査科長	尾関 伸一郎	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	循環器内科
10	形成外科医長	鈴木 裕一	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	形成外科
11	病理診断科医長	内橋 和芳	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	病理診断科
12	放射線科医長	阿比留 一	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	放射線科
13	産婦人科医長	津村 圭介	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	産婦人科
14	産婦人科医長	上妻 友隆	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	産婦人科
15	小児科医師	水上 朋子	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	小児科
16	小児科医長	江頭 智子	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	小児科
17	小児科医師	江頭 政和	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	小児科
18	小児科医師	荻原 俊	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	小児科
19	小児科医師	七條 了宣	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	小児科
20	小児科医師	富野 広通	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	小児科
21	小児科医師	河内 久美	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	小児科
22	小児科医師	中村 圭佑	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	小児科
23	小児科医師	荻野 明日香	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	小児科
24	循環器内科医長	樋渡 敦	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	循環器内科
25	循環器内科医師	内野 真純	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	循環器内科
26	内科医長	井手 康史	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	内科
27	内科医長	安部 友範	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	内科
28	内科医師	澤瀬 寛典	常勤 専従 非常勤 非専従	8:30~17:15	内科

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
29	内科医師	松永 拓也	常勤 非常勤	8:30~17:15	内科
30	内科医師	平井 哲	常勤 非常勤	8:30~17:15	内科
31	外科医長	中島 弘治	常勤 非常勤	8:30~17:15	外科
32	外科医長	川原 大輔	常勤 非常勤	8:30~17:15	外科
33	外科医師	峯 由華	常勤 非常勤	8:30~17:15	外科
34	産婦人科医師	小野 剛史	常勤 非常勤	8:30~17:15	産婦人科
35	産婦人科医師	大島 侑子	常勤 非常勤	8:30~17:15	産婦人科
36	産婦人科医師	石松 真人	常勤 非常勤	8:30~17:15	産婦人科
37	産婦人科医師	津田 聡子	常勤 非常勤	8:30~17:15	産婦人科
38	産婦人科医師	池田 正純	常勤 非常勤	8:30~17:15	産婦人科
39	産婦人科医師	権藤 佳奈子	常勤 非常勤	8:30~17:15	産婦人科
40	産婦人科医師	久本 菜美	常勤 非常勤	8:30~17:15	産婦人科
41	産婦人科医師	山下 夏未	常勤 非常勤	8:30~17:15	産婦人科
42	整形外科医師	江頭 秀一	常勤 非常勤	8:30~17:15	整形外科
43	整形外科医師	杉原 祐介	常勤 非常勤	8:30~17:15	整形外科
44	整形外科医師	宮坂 悟	常勤 非常勤	8:30~17:15	整形外科
45	整形外科医師	松尾 大地	常勤 非常勤	8:30~17:15	整形外科
46	皮膚科医師	井手 万里子	常勤 非常勤	8:30~17:15	皮膚科
47	眼科医師	河田 康祐	常勤 非常勤	8:30~17:15	眼科
48	麻酔科医師	濱田 献	常勤 非常勤	8:30~17:15	麻酔科
49	麻酔科医師	濱田 さつき	常勤 非常勤	月水木8:30~17:30	麻酔科
50	麻酔科医師	辻 史子	常勤 非常勤	8:30~17:15	麻酔科
51	皮膚科医師	橋本 明子	常勤 非常勤	月火水木8:30~13:30 金8:30~13:05	皮膚科
52	皮膚科医師	西島 君耶	常勤 非常勤	8:30~17:15	皮膚科

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

共同利用を行った医療機関の延べ数	1, 122
上記の内、開設者と直接関係のない医療機関の延べ数	1, 122
共同利用率	100%
(共同利用病床の状況)	
常時共同利用可能な病床数	10床
対象病床数	3, 650床
利用病床数	0床
利用率	0%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

(建物) 建物全部 (設備) MRI、CT、乳房撮影装置、心臓血管連続撮影装置、内視鏡装置、超音波診断装置等 (器械又は危惧) 上記に付随する器械及び危惧一式

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無 有・無
- イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：古川 園恵
職種：看護師

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
別紙のとおり				

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	10床
--------------	-----

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	郵便番号	所在地	TEL	FAX	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
医療法人 輔仁会 内野産婦人科	内野 稔	840-0054	佐賀市水ヶ江2丁目4番2号	0952-23-2360	0952-22-1243	なし
医療法人 えとう内科・循環器内科	江頭 泰博	840-0804	佐賀市神野東4丁目3番19号	0952-33-8177	0952-97-9500	なし
医療法人ロコモディカル江口病院(理事長 江口尚久)	小野 尚文	845-0032	小城市三日月町大字金田1178-1	0952-73-3083	0952-72-5773	なし
太田医院	太田 正憲	846-0002	多久市北多久町大字子侍630	0952-74-3236	0952-74-3915	なし
医療法人 啓祐会 神埼病院	橋本 峰一	842-0002	神埼市神埼町大字田道ヶ里2216番地1	0952-52-3145	0952-52-3142	なし
木村医院	石井 雄二	849-0903	佐賀市久保泉町下和泉1931	0952-98-1234	0952-98-1234	なし
医療法人 北島整形外科	北島 雅治	849-0922	佐賀市高木瀬東2丁目15番6号	0952-30-2657	0952-33-5890	なし
医療法人 北野整形外科医院	北野 克順	849-0928	佐賀市若穂2丁目4番10号	0952-32-5073	0952-32-5073	なし
医療法人 双水会 熊谷整形外科	熊谷 洋幸	840-0023	佐賀市本庄町大字袋275-1	0952-25-3288	0952-28-4293	なし
小森医院	小森 啓範	842-0033	神埼郡吉野ヶ里町大字豆田1254番地2	0952-52-1136	0952-53-5641	なし
このの医院	河野 哲也	849-0918	佐賀市兵庫南1丁目12-7	0952-23-7276	0952-23-7240	なし
医療法人 智仁会 佐賀リハビリテーション病院	吉原 正博	840-0016	佐賀市南佐賀1-17-1	0952-25-0231	0952-26-6699	なし
鯨島病院	鯨島 隆晃	840-0521	佐賀市富士町小副川272	0952-64-2231	0952-64-2233	なし
島内整形外科	島内 良三	840-0201	佐賀市大和町尼寺2628-1	0952-62-2300	0952-62-7571	なし
しらみず診療所	白水 俱弘	840-0801	佐賀市駅前中央2丁目7-19	0952-34-1120	0952-34-1123	なし
医療法人 信愛整形外科医院	森永 秀和	840-0843	佐賀市川原町4番8号	0952-22-1001	0952-28-5526	なし
医療法人 安寿会 田中病院	松尾 修三、鶴田 英夫	840-0862	佐賀市嘉瀬町扇町2344-16	0952-23-2640	0952-29-1738	なし
医療法人 高橋内科	高橋 明	845-0014	小城市小城町大字晴気200-3	0952-72-1100	0952-72-1101	なし
医療法人 田中産婦人科	田中 博志、江口 博敏	849-0918	佐賀市兵庫南1丁目19番42号	0952-28-1188	0952-28-7578	なし
たんぼほクリニック	橋川 桂三	849-0926	佐賀市若宮1丁目19-29	0952-36-9206	0952-36-9236	なし
医療法人 中西内科	中西 弘	840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2257番地8	0952-62-0029	0952-62-6745	なし
内藤医院 北山診療所	内藤 博文	840-0532	佐賀市富士町大字大野1060-23	0952-57-2226	0952-57-2227	なし
中尾胃腸科医院	中尾 昌功	842-0002	神埼市神埼町大字田道ヶ里2284番地1	0952-52-3295	0952-53-5664	なし
中下医院	中下 真二	842-0054	神埼市千代田町大字餘江128番地	0952-44-2488	0952-44-2146	なし
医療法人 野田好生医院	野田 和良	845-0013	小城市小城町薬原5-4	0952-72-3232	0952-72-3349	なし
医療法人 浜崎整形外科	浜崎 文太郎	849-0804	佐賀市神野東4丁目12番8号	0952-31-0231	0952-31-0232	なし
橋野医院	橋野 耕太郎	849-0922	佐賀市高木瀬東5丁目17番15号	0952-31-0007	0952-32-3514	なし
東与賀大塚医院	大塚 坦	840-2221	佐賀市東与賀町大字下古賀1349	0952-34-7071	0952-45-7336	なし
医療法人 ひらまつ病院	加藤 雅人	845-0001	小城市小城町1000番地1	0952-72-2111	0952-72-5550	なし
日浦呼吸器科内科小児科医院	日浦 研哉	849-0937	佐賀市鍋島2丁目12-31	0952-34-1400	0952-34-1407	なし
福田脳神経外科病院	田口 明	840-0027	佐賀市本庄町大字本庄1236番地	0952-29-2223	0952-26-7976	なし
ふじおか病院	藤岡 康彦	840-0201	佐賀市大和町大字尼寺2685番地	0952-62-2200	0952-62-5399	なし
医療法人 三和会 本多整形外科	本多 重信	849-0922	佐賀市高木瀬東2丁目4番10号	0952-32-3535	0952-32-3716	なし
前山皮膚科	前山 直	840-0804	佐賀市神野東3丁目7-1	0952-30-5412	0952-30-5413	なし
前山医院	前山 英彦	840-0843	佐賀市川原町6番17号	0952-23-2348	0952-22-0735	なし
松本医院	松本 博	842-0104	神埼郡吉野ヶ里町三津751番地9	0952-52-4185	0952-53-3385	なし
松永内科医院	松永 千佳	849-0921	佐賀市高木瀬西1丁目3番25号	0952-31-1940	0952-32-3987	なし
満岡内科クリニック	満岡 聡	840-0201	佐賀市大和町大字尼寺848番地11	0952-51-2922	0952-51-2923	なし
医療法人 修和会 村岡内科医院	村岡 浩	849-0303	小城市牛津町大字牛津734-1	0952-66-3750	0952-66-5161	なし
目連原整形外科	橋本 貫	842-0031	神埼郡吉野ヶ里町吉田2900番地	0952-52-3717	0952-53-5642	なし
医療法人 慶仁会 森川耳鼻咽喉科	森川 郁郎	840-0853	佐賀市長瀬町5番18号	0952-24-6051	0952-25-2117	なし
矢ヶ部医院	矢ヶ部 伸也	840-0015	佐賀市木原3丁目2-11	0952-29-6121	0952-22-0656	なし
やさか内科皮膚科	八坂 達臣	840-0054	佐賀市木原1-24-38	0952-29-1722	0952-29-6466	なし
Y. H. C. 矢山クリニック	矢山 利彦	840-0201	佐賀市大和町尼寺3049の1	0952-62-8892	0952-62-8893	なし
医療法人 やなぎしまこども医院	柳島 正博	845-0001	小城市小城町中町549番地1	0952-73-3666	0952-73-3252	なし
医療法人 力武クリニック	力武 浩	849-0934	佐賀市開成3丁目5番5号	0952-32-5500	0952-32-5501	なし
しげた総合診療クリニック	重田 研一郎	840-0214	佐賀市大和町川上323-1	0952-64-9800	0952-64-9809	なし
産婦人科なみなみクリニック	中並 正道	840-0016	佐賀市南佐賀1-8-2	0952-28-5277	0952-28-5278	なし
おおく産婦人科	大隈 良貴、大隈 良穂、今石 裕人、黒田 亜紀	849-0921	佐賀市高木瀬西2丁目10-5	0952-31-6117	0952-33-2423	なし
兼富医院	兼富 智	840-0853	佐賀市長瀬町3-15	0952-24-2605	0952-24-7569	なし
いのうえ内科泌尿器科クリニック	井上 通朗	849-0201	佐賀市久保田町大字徳万1639-1	0952-68-2466	0952-68-2990	なし
富崎小児科	円城寺 しづか	840-0804	佐賀市神野東2丁目4-38	0952-30-5793	0952-33-6333	なし
ひらまつ在宅療養支援診療所	鎌ヶ江 寿美子	845-0001	小城市小城町723-24	0952-72-8400	0952-72-8405	なし
ひらまつクリニック	永島 一弥	845-0001	小城市小城町1000番地1	内科0952-20-3501	0952-20-3501	なし
栗原内科消化器科医院	栗原 紳太郎	840-0501	佐賀市富士町古湯2763-1	0952-58-2080	0952-58-2141	なし
さとうクリニック	佐藤 智浩	840-2205	佐賀市川副町南里372-1	0952-45-8000	0952-45-7608	なし
鶴田内科	鶴田 満浩	849-0923	佐賀市日の出1-14-13	0952-31-3868	0952-31-8345	なし
寺田内科	寺田 洋臣	840-0811	佐賀市大財1丁目8番30号	0952-24-5288	0952-24-5186	なし
医療法人 中尾医院	中尾 信主	840-0825	佐賀市中央本町1-22	0952-23-3213	0952-25-5513	なし
野口クリニック	野口 清	840-0801	佐賀市駅前中央2-1-1	0952-31-5548	0952-31-5554	なし
すこやか女性クリニック	西岡 智子	840-0826	佐賀市白山2丁目7-1エスプラッツ2F	0952-20-1671	0952-20-1670	なし
こやなぎ内科クリニック	小柳 修二郎	849-0917	佐賀市高木瀬町大字長瀬969-1アルタ高木瀬店2階	0952-36-5101	0952-36-5100	なし
鶴田整形外科	鶴田 敏幸	849-0309	小城市牛津町勝1241-6	0952-66-4114	0952-66-4133	なし
鶴田運動機能回復クリニック	小峯 光徳	849-0305	小城市牛津町上砥川174-8	0952-51-5611	0952-51-5432	なし
すむのさと高尾病院	加納 隆之	841-0044	鳥栖市高田町210-1	0942-84-8838	0942-84-8858	なし
きやま高尾病院	高妻 一郎	841-0200	三養基郡基山町大字園部270-1	0942-92-4868	0942-92-4861	なし
こいけクリニック	小池 健木	849-0919	佐賀市兵庫北2-19-12	0952-20-3111	0952-20-3112	なし
なかしまクリニック	中島 弘治	840-0826	佐賀市白山2-5-17	0952-41-1127	0952-41-1136	なし

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別紙のとおり

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	31回
(2) (1) の合計研修者数	898人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 有 無
- イ 研修委員会設置の有無 有 無
- ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職 種	診療科	役 職 等	臨床経験数	特 記 事 項
高柳 俊光	医師	小児科	第一診療部長	39年	
				年	
				年	
				年	
				年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
研修ホール	271.3㎡	(主な設備) パソコン、液晶プロジェクター、電動スクリーン、手動スクリーン、音響設備
中研修室	81.6㎡	(主な設備) 液晶プロジェクター、電動スクリーン、音響設備
	㎡	(主な設備)

研修の開催状況

表1 地域の医師を集めた症例検討会（ケースカンファランス） 日本医師会生涯教育の認定講座

	検討会名	実施日	院外	院内	参加人数	(内Web)
1	周産期における新型コロナウイルス感染症 ～主に新生児の取り扱いを中心に（その2）～	令和4年4月25日	16	14	30	15
2	当院へご紹介いただいた症例のご報告 ～①当院におけるジノプロストン腔用剤(プロウペスR)の使用経験 ②子宮破裂に対する超緊急帝王切開術の経験 ③胎児腹腔内嚢胞の鑑別	令和4年5月23日	14	29	43	18
3	高齢者の進行大腸癌に対する当科の治療方針について ～高齢者の多い佐賀県内の大腸癌に対して、ADL や全身状態に応じた治療(根治手術、姑息手術、化学療法等)を紹介します～	令和4年6月27日	9	21	30	6
4	当院での大腿骨近位部骨折の治療 ～基本から統計学的評価について～	令和4年7月25日	2	18	20	2
5	難治性腹水の治療戦略 ～トルバプタンを含む利尿剤投与、腹水ろ過濃縮再静注療法(CART)、腹腔-静脈シャント(デンバーシャント)等について～	令和4年9月26日	7	10	17	4
6	極低出生体重児の学童期の呼吸機能 ～当院NICU退院児の9歳および12歳時健診結果をもとに～	令和4年10月24日	11	17	28	11
7	当院へご紹介いただいた症例のご報告 ～①肝機能障害を伴う妊娠高血圧症候群の検討 ②未破水の高度子宮内炎症症例に対する羊水灌流療法 ③双胎一児に多発心臓腫瘍を認めた一例～	令和4年11月28日	9	19	28	7
8	当院における様々な腸閉塞症例について	令和5年1月23日	6	19	25	4
9	当院にご紹介いただいた患者の報告（皮膚科）	令和5年2月27日	8	7	15	6
10	肺塞栓症について ～静脈血栓塞栓症の診断・治療について発表します～	令和5年3月27日	5	15	20	2
	合計		87	169	256	(75)

表2 医学・医療に関する講習会（知っ得講座）

	講習会名	実施日	院外	院内	参加人数	(内 Web)
1	当院における NICU 看護の紹介	令和4年5月26日	12	19	31	18
2	感染対策の ABC ～新型コロナウイルス感染症対策をふまえて～	令和4年7月28日	7	8	15	6
3	家庭のできる高齢者のスキンケア	令和4年12月16日	4	37	41	1
4	意思決定支援 ～あなたの想いを聞かせて下さい～	令和4年9月29日	25	19	44	15
5	医療安全文化の醸成にむけて ～チームステップを始めるために～	令和4年10月27日	11	7	18	8
6	糖尿病のシックデイ対策 ～こんな時どうする～	令和4年11月24日	25	11	36	7
7	摂食嚥下障害のおはなし。 ～安全に、おいしく食べてもらうために～	令和5年2月24日	9	55	64	6
		合計	93	156	249	(61)

表3 周産期医療・看護関連研修会

	研修会名	実施日	院外	院内	参加人数
1	佐賀県新生児蘇生法講習会 Sコース 主催 新生児蘇生法講習会佐賀実行委員会	令和4年5月15日	0	9	9
2	佐賀県新生児蘇生法講習会 Aコース 主催 新生児蘇生法講習会佐賀実行委員会	令和4年7月3日	8	12	20
3	佐賀県新生児蘇生法講習会 Aコース 主催 新生児蘇生法講習会佐賀実行委員会	令和4年9月17日	26	0	26
4	佐賀県新生児蘇生法講習会 Aコース 主催 新生児蘇生法講習会佐賀実行委員会	令和4年11月12日	18	6	24

5	佐賀県新生児蘇生法講習会 Fコース 主催 新生児蘇生法普及事業事務局	令和5年1月28日	36	4	40
6	2022年度 佐賀県子育て支援カウンセラー派遣事業研修会	令和5年2月5日	30 (Web)	13	43
7	佐賀県新生児蘇生法講習会 Sコース 主催 新生児蘇生法講習会佐賀実行委員会	令和5年3月11日	13	4	17
8	2022年度 佐賀総合周産期フォーラム	中止			
		合計	131	48	179

表4 小児科勤務医症例検討会

	研究会名	実施日
1	症例検討（各病院からの症例提示）、情報交換 *NH0 佐賀病院、佐賀大学医学部附属病院、佐賀県医療センター好生館	令和4年4月20日 令和4年5月18日 令和4年6月15日 令和4年9月21日 令和4年10月19日 令和4年11月16日 令和5年2月15日

表5 佐賀病院救急医療研修会

	研修会名	実施日	院外	院内	参加人数
1	敗血症初期診療	令和5年1月16日	7	13	20
2	外傷初期診療	令和5年2月13日	8	27	35
3	急変時対応①	令和5年2月17日	12	23	35
4	急変時対応②	令和5年2月28日	9	15	24
		合計	36	78	114

表 6 佐賀中部地区救急医療研究会

	研究会名	実施日	院外	院内	総数
1	<p>第 4 回 佐賀中部地区救急医療研究会</p> <p>1. 症例検討会</p> <p>1) 救急搬送データから見える佐賀病院の救急医療の現状</p> <p>2) 転院搬送症例から見える救急外来の現状と課題について</p> <p>3) 当院から 3 次医療機関へ救急搬送となった心臓血管疾患</p> <p>4) カフェイン中毒について</p> <p>2. 特別講演</p> <p>「救急外来で遭遇するかもしれない心臓血管外科関連疾患」</p> <p>演者 佐賀県医療センター好生館 心臓血管外科部長 里 学 先生</p>	令和 4 年 12 月 8 日	18	82	100

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	事務部長 城島 賢二
管理担当者氏名	管理課長 朝重 久緒 庶務班長 武田 竜太

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		病歴保管庫	退院日順による歴年更新
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携室 放射線科	
	救急医療の提供の実績	企画課	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携室	
	閲覧実績	管理課	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携室	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	院長 円城寺 昭人
閲覧担当者氏名	管理課 庶務班長 武田 竜太 企画課 専門職 田中 功
閲覧の求めに応じる場所	管理課 企画課
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>診療に関する諸記録の閲覧は、開示申請書により申請する。 院内決裁完了後、開示を行うときは回答書により対象者に通知する。</p> <p>病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧を希望するときは、法人文書開示請求書により申請する。院内決裁完了後、開示を行うときは法人文書開示決定通知書にて対象者に通知する。</p>	

前年度の総閲覧件数		20件
閲覧者別	医師	件
	歯科医師	件
	地方公共団体	件
	その他	20件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回	
委員会における議論の概要		
令和4年7月13日開催【第1回】		
1. 委員の紹介		
2. 令和3年度各種実績報告		
病院運営状況報告		
・初診患者数、紹介患者数、紹介率、逆紹介率の推移 ・診療科別診療情報提供書数の推移・救急車搬送患者数の推移 ・患者搬送車（新生児用救急車）運用実績 ・総合周産期母子医療センター入院患者数の推移 ・地域医療連携パスの状況 ・佐賀県診療録地域連携システムの状況（ピカピカリンク） ・大型医療機器共同利用の実績 ・診療録の閲覧状況・患者に対する相談体制・地域医療連携研修会実施状況（ケースカンファレンス、医療従事者のための「知っ得講座」、周産期医療・看護関連研修会、小児科勤務医症例検討会、救急医療研修、救急医療研究会）		
3. 令和4年度事業計画		
地域医療連携研修計画		
・地域連携セミナー ・周産期関連研修 ・チーム医療推進研修会 ・委託研修		
4. 実績報告、研修計画について審議		
5. ご意見・ご要望		
（好生館より）整形外科の患者がすごく増えている。当院（好生館）も整形外科は緊急手術も多くて回らない状況なので、当院でほとんど診ていると思っていたが、貴院もこんなに診ているとは知らなかった。		
（佐賀リハビリテーション病院より）退院後の訪問に行っているとのことだが、当院でもリハビリ科スタッフとソーシャルワーカー等で行っているが、コロナ渦であり家族の受け入れなど難しいところもある。		
⇒（当院回答）当院では、NICU退院後の小児の訪問にはMSW、NICU看護師、助産師等で訪問する。入院中から患者や家族と関わっており、退院後の生活状況の確認や指導した内容がどのように行われているか確認するためであり、入院中から必要な人には訪問に行くことを話しているため、拒否されることはほとんどない。成人の場合も入院中から説明するが、コロナ渦であることもあり、対象を必要な人に絞って行っていることで、自宅への訪問を拒否されるということはないように思われる。		
令和5年3月11日開催【第2回】		
1. 令和3年度～4年度各種実績報告		
病院運営状況報告		
・初診患者数、紹介患者数、紹介率、逆紹介率の推移 ・診療科別診療情報提供書数の推移		
・救急車搬送患者数の推移 ・患者搬送車（新生児用救急車）運用実績 ・総合周産期母子医		

療センター入院患者数の推移・地域医療連携パスの状況 ・佐賀県診療録地域連携システムの状況（ピカピカリンク）・大型医療機器（CT, MRI）共同利用の実績 ・診療録閲覧状況 ・患者相談実績

・地域医療連携研修会実施状況（ケースカンファレンス、医療従事者のための「知っ得講座」、周産期医療・看護関連研修会、小児科勤務医症例検討会、救急医療研修、救急医療研究会）

2. ご意見・ご要望

（好生館より）救急車搬送件数は去年も多くなって、今年もさらに増えているが、これだけ急激に増えると職員の負担もかなり増えているのではないかとと思われるが、超過勤務が増えているのか、何か対策をされているのか、いかがでしょうか。

⇒（当院回答）働き方改革もあり、今年度より医師の当直を勤務に変更した。準夜帯までの救急対応が多く、深夜帯は1台程度ということもあり、準夜帯までを勤務、その後は当直としている。そのため、翌日を休日にしなないといけなくなったが、そこで超過勤務が発生している状況。

（注） 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口・相談室・その他（病棟、外来）
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域医療連携係長（看護師長） 古川 園恵 ・ 副看護師長 嘉村 真理子 ・ 退院調整専従看護師 藤木 美智子 ・ 看護師 松本 千穂、筒井 久美子 ・ 医療ソーシャルワーカー 下田 薫、池田 浩子、倉田 順子
患者相談件数	8, 387件

患者相談の概要

【 相談内容 件数 】	件数
診療・情報提供など	
1. 情報提供に関する事	501
2. 紹介に関する事	649
3. 転院に関する事	1,393
4. 受診に関する事	1,168
5. 当院・他院予約に関する事	63
6. 問い合わせ、電話・FAX	1,238
医療費・福祉相談・在宅支援	
1. 医療費に関する事	117
2. 社会福祉制度に関する事	499
3. 在宅支援に関する事	911
4. 家族関係に関する事（身元引受人）	72
周産期関係など	
1. 育児療養	740
2. 虐待・DV	14
3. 妊娠相談（妊娠SOS）	31
4. 精神心理相談など	165
医療相談・苦情・意見など	
1. 医療相談	48
2. 病状不安（セカンドオピニオンなど）	626
3. 意見・苦情	9
その他	
1. その他	143
合計	8,387

当院は佐賀県総合周産期母子医療センターであり育児養育に関連した相談が多い。社会的支援が必要な妊婦に対しては妊娠前期より臨床心理士や病院スタッフ、地域の保健師との連携を図り産後の育児につなげられるよう支援している。また、医療ケアの必要な児については退院前後訪問を行

い、自宅で安心して生活できるよう訪問看護師や保健師との連携を図っている。

妊娠に関しては、思いがけない妊娠に対する相談で、話を聞くと共に必要により指導を行っている。医療相談・苦情・意見は病状への不安による相談が多く、医師からの10時の同席により家族と医師との橋渡しや他部門、他職種、退院先との連携に努めている。

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式例第19-2) 地域における医療の確保を図るために特に必要であるものとして都道府県知事が定めた事項

都道府県知事が定めた内容
特になし
実施状況

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有・ <input checked="" type="radio"/> 無

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<p>(1) 研修会、セミナーの広報活動 (2) 診療内容、担当者の発信・発送 (3) 広報誌発行・発送</p> <p>ケースカンファランスは、10回の開催で参加総数256人、知っ得講座は、7回開催し参加総数249人で、共にリモートでの参加が増えた。リモート開催により唐津等遠方からの参加もあった。広報誌や各診療科医師一覧は更新ごとに発送した。ホームページの内容を見直し、修正を行ったが、医師の専門分野の紹介などホームページを活用しても良かったと思われ、次年度は各診療科ホームページの見直しも必要と考えている。</p>	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	<input checked="" type="radio"/> 有・無
<p>退院調整専従看護師1名、各病棟に退院調整専従医療ソーシャルワーカーを配置している。</p> <p>病棟から入院3日以内に提出される入退院支援スクリーニングシートをもとに、支援が必要と判断された患者に対し、1週間以内に患者や家族と面接を行い、入院前の生活状況、病状や治療に対する不安などを聞き、退院に対しての意向を確認している。また、その情報を退院支援カンファレンスにおいて病棟スタッフに情報提供を行い、患者が安心して療養でき次の療養先へ退院ができるように退院支援の計画を立案し、転院や自宅退院へ繋げている。</p> <p>毎日、退院支援調整専従看護師と医療ソーシャルワーカー3名でベットコントロールミーティングを行っており、現在の病院全体のベッド数、入院、退院予定数などを把握し、周辺の医療機関の受け入れ状況などの情報共有を行い、一か所だけでなく数か所且つ空床のある病院への転院調整を行っている。</p>	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	有・無
<p>・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 (種類) 「大腿骨近位部骨折地域連携パス」 (内容) 超高齢社会においてますます増加していくことが見込まれる大腿骨近位部骨折患者について、施設感での情報提供内容のばらつきを少なくし、急性期病院と連携医療機関(施設等)のスムーズな連携のもとに継続的なケアが行えることを目的としている。</p> <p>・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 年3回、急性期病院(佐賀病院、佐賀県医療センター好生館、佐賀中部病院)が持ち回りで主催して関連施設と共に合同カンファレンスを実施し、各病院での情報を集約し、実態を把握し、分析を加えることにより、効果的なサービス提供体制を構築する取組みを行っている。</p>	